

## 11. 福岡市におけるマーケットバスケット方式による食品中の残留農薬一日摂取量調査 ー平成 21～23 年度ー

保健科学課 堀江 文・内山 賢二  
森川 英俊・中村 正規

### 第 49 回全国衛生化学技術協議会年会

福岡市民が日常の食事を介して農薬等をどの程度摂取しているかを把握し、情報提供することは、食の安全・安心を確保する上で重要である。市政アンケートにおいても『食』の安全性について不安に感じる事の中で「農薬等の食品への残留」が例年上位に挙がっており、市民の関心が非常に高い。

福岡市では平成 17 年度からマーケットバスケット方式による残留農薬の一日摂取量調査を行っている。今回、平成 21～23 年度の結果において、検出した農薬については、その食品の摂取量および一日摂取許容量 (ADI) をもとに安全性の評価を行った。平成 22 年度の調査では、定量下限を超える農薬は検出しなかった。平成 21 年度および 23 年度は数種の農薬を検出したが、対 ADI 比が 0.0021～0.19% であり問題のない結果であった。また、農薬が検出した群においてどの食品由来か個別分析を行ったところ、個々の食品の基準値を超過するものはなかった。